

研究群共通科目

研究群共通科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OBD5001	ビジネスマネジメント特別演習 I-I	2	2.0	1	春AB	±5,6	領家 美奈, 佐藤 秀典, 伴 正隆, 津田 和彦, 西尾 テヅル, ベントン キャロライン, 牧本 直樹, 猿渡 康文, 木野 泰伸, 山田 雄二, 佐藤 忠彦, 立本 博文, 中村 亮介, 尾崎 幸謙, 吉田 光男, 倉橋 節也	研究指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。春学期に開講し、学生各自による研究テーマの絞り込み、博士論文の研究計画書作成を指導し、研究テーマ発表会に臨める形を目標にする。初回は、情報倫理・研究倫理の説明を含めた学位取得に関するガイダンスを行なうので出来るだけ出席すること。	02FA141と同一。 履修申請は1年次の春A期間
OBD5002	マーケティング・サイエンス特論	1	1.0	1 - 3	春B	±2,3	佐藤 忠彦	本講義では、消費者及び企業の行動をモデル化し、マーケティング上有用な高次情報を抽出するための統計的モデリング法について検討を行う。具体的には、階層ベイズモデル手法及びそれらの適用事例について紹介し、関連する知識と研究方法を体得するとともに、最新のマーケティング・サイエンスアプローチを議論する。本講義のキーワードは、ベイジアンモデリング、階層ベイズモデル、マルコフ連鎖モンテカルロ法、市場反応モデル、離散選択モデル等である。	02FA203と同一。 対面
OBD5003	経営戦略総論	1	1.0	1 - 3	秋C	±5,6	立本 博文	本講義では、経営戦略論の学術研究を理解し自ら実施するために必要な学術理論と研究方法について概説する。ただし経営戦略に関する研究を行うに当たり、必須となる研究方法の理解を優先し、理論については必要に応じて概説する。研究方法について、とくに統計分析と事例分析について取り上げる。統計分析については経営学研究で頻繁に利用される回帰分析を主に扱う。事例分析については同じく経営学研究で頻繁に利用される比較事例分析を主に扱う。また、それぞれの研究方法における代表的な適用例について既存研究をもとに理解を深める。学術研究を行うにあたり必要な研究方法を理解することを目的とする。	西暦偶数年度開講。 02FA207と同一。 対面
OBD5004	財務会計特論	1	1.0	1 - 3				本講義では、会計制度の国際化という状況のもとで、財務会計の最新論点(金融商品会計、リース会計、退職給付会計、税効果会計、減損会計、連結会計など)について整理し、これについてどのような実証研究が行われているのかを主に利益調整という観点から学習する。そして、各ステークホルダーの意思決定に役立つような会計制度を構築するためには今後、どのような研究が必要かを考える。そのため、当該トピックスについて関連論文を読み、発表を行ってもらうことで理解を深める。	西暦奇数年度開講。 02FA279と同一。 2026年度開講せず。 オンライン(同時双方向型)
OBD5005	知能情報システム	1	1.0	1 - 3	秋B	±5,6	倉橋 節也	複雑な社会や経営の問題を扱うためには、知能情報システムのモデル化が必要となる。本講義では、人工知能をベースとしたマルチエージェント技術に基づくシミュレーション&ゲーミング手法を紹介する。これはボトムアップ型のアプローチであり、ソフトウェアエージェントと人間を含むそれぞれの主体が、シンプルなゲーミング環境の下で、自律的・適応的な意思決定を通して、複雑なシステムを実験的に再現することができる。本講義ではゲーム設計を含め、グループワークを通して自律的に参加することで、知能情報システムのモデル化について理解する。	西暦偶数年度開講。 02CF206、02FA247と同一。 対面